

## 令和6年度第5回別府市人権教育学級

日時：令和6年 10月10日(木)10:00～11:50

場所：別府市中央公民館 講座室

テーマ：女性の人権

演題：『ノンバイナリー』当事者の視点から日本における『女性』の人権を問う

講師：お悩みコンシェルジュEndre 布施順子 氏

### 講師プロフィール

- ・青森県出身
- ・早稲田大学文化構想学部卒業
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構にて、障害者職業カウンセラー職として障害者雇用に係る業務に従事
- ・公認心理師の資格取得
- ・昨年「お悩みコンシェルジュ Endre」を立ち上げられ、LGBTQに係る事業も開始
- ・大分県教育庁所属スクールカウンセラーとして、小学校や中学校でも指導

### 講演内容

- ステップ1 そいえば「人権」って？
- ステップ2 私たちと、私たちの社会を構成するもの
- ステップ3 「ノンバイナリー」について
- ステップ4 「女性の人権問題」とされるトピック
- ステップ5 できそうなことってなんだろう？

### 講演の様子



〈 講師 布施 順子 氏 〉



〈 講演の様子 〉



〈 グループワークの様子 〉

### 参加者感想

- 現代は女性の人権に限らず、人権が守られていないことが多くあるのだと改めて気づきました。当たり前で過ごしている日常の中に、様々な人権侵害があるなと思いました。自分が持つ価値観や偏見などを認識することが必要だと思いました。
- 今まで感覚で感じていたことや思っていたことを、理解しやすく言葉にさせていただきありがとうございました。自分は性的マイノリティではないが、マイノリティ、マジョリティを区別しない世界になるとよいと思う。「Endre」の活動は素晴らしいと思います。これからのご活躍を期待しております。
- LGBTQ という言葉をよく耳にするようになりましたが、あまり知りませんでした。今回詳しく知る機会ができて、勉強になりました。お話をお聴きし、自分の考え方のフィルターに気づくことができました。
- 女性の人権を守ることが重要視されている現状を知りました。ジェンダーギャップ指数を見て、こんなにも差があるのかと驚かされました。また、女性としての役割と言われるものがこんなにも多くあるのかと気づかされました。女性の役割としてのレッテルを外して、男女で協力し合える世の中になればと思いました。
- 女性らしさ、男性らしさ等、偏見なく過ごしていきたいと思いました。少数派と言われる人が、受け入れられる社会になるように考えながら過ごしていきたいと思いました。